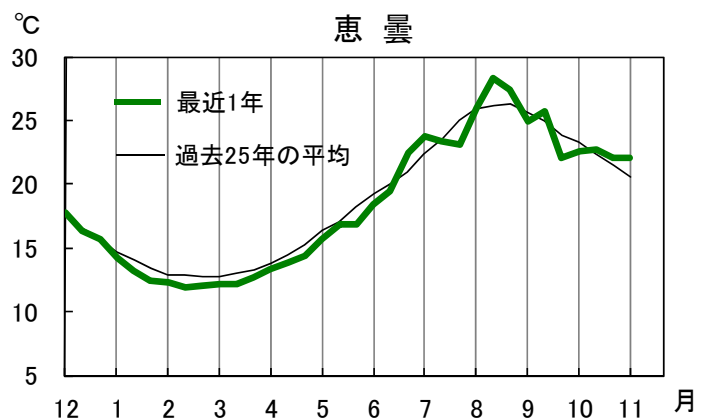
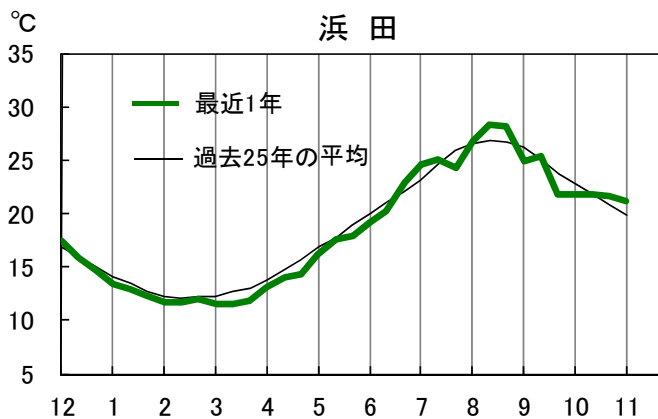




## 《10～11月の海況》

10月	月平均	平年差	評価
浜田	21.7℃	-0.04℃	平年並み
恵曇	22.5℃	+0.1℃	平年並み

沿岸定地水温は、10月は浜田地区及び恵曇地区とも上旬は「やや低め」、中旬は「平年並み」でした。10月下旬以降は両地区とも高め傾向に転じ、10月下旬は「やや高め」、11月に入り上旬時点で「かなり高め」で経過しています。



## 《10月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ主体の漁況でした。10月下旬あたりからマアジがまとまって漁獲されるようになり、漁獲量は平年の2.5倍と好調でした。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではウルメイワシ、マアジ、サバ類主体の漁況でした。特にウルメイワシは好調で、10月中旬頃からまとまって漁獲されだし、漁獲量は平年の4.6倍となる約7,600トンでした。一方、マアジ、サバ類は平年を下回る漁況でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ主体（全体の96%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は393kgで平年を上回りました。西郷地区（属地5トン以上）でもケンサキイカ主体（全体の100%）の漁況となり、1隻1航海あたりの漁獲量は310kgで平年を上回りました。浜田地区では11月に入り漁模様は下火傾向にありますが、ケンサキイカの秋季来遊群を対象にイカ漁は継続している模様です。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田港ではケンサキイカ主体の漁況でした。1統1航海当たり漁獲量は16.7トンで、平年を上回る水揚げとなりました。ケンサキイカは前月に引き続き好調に推移し、平年の2.9倍の水揚げがありました。このほか、キダイ、アナゴ類も平年を上回る水揚げとなりました。一方、カレイ類ではムシガレイが平年の9割、ヤナギムシガレイが平年の4割の水揚げに止まりました。このほか、アカムツも平年の5割の水揚げに止まりました。

## 【小型底びき網漁業】

和江地区ではケンサキイカ主体、久手地区ではニギス、ケンサキイカ、ソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、両地区とも前年、平年を上回りました。ケンサキイカは両地区とも好調に推移し、平年の3.6倍の水揚げがありました。和江地区ではキダイ、カワハギ類が、久手地区ではソウハチが平年を上回る水揚げとなりました。

## 【定置網漁業】

石見地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比ではマアジが2.4倍でしたが、サバ類が8割、ブリが7割であったため、全統の総漁獲量は平年並みでした。出雲地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比ではサバ類が2.5倍、マアジが1.6倍でしたが、ブリが5割であったため、全統の総漁獲量は平年並みでした。隠岐地区ではマアジ、ケンサキイカ、ブリ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量の平年比ではマアジが2.7倍、ケンサキイカが13.7倍でしたが、ブリが6割であったため、全統の総漁獲量は平年並みでした。

## 【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は39kgで平年を上回りました。出雲地区ではケンサキイカ、ブリ、マダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は34kgで平年を上回りました。隠岐地区ではケンサキイカ、メダイ、クロマグロが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は39kgで平年を上回りました。どの地区でもケンサキイカが前月に引き続き好調で、3地区の総漁獲量は164トンで、平年の1.5倍でした。

【平成23年10月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	712トン	80%	106%	23.7トン	91%	123%	○
	西郷	ウルメイワシ、カタクチイワシ、マアジ	11,132トン	126%	160%	116.0トン	122%	162%	◎
	浦郷	ウルメイワシ、マアジ、サバ類	6,495トン	115%	141%	90.2トン	118%	154%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	397トン	127%	210%	393 kg	99%	127%	◎
	西郷	ケンサキイカ	22トン	364%	135%	310 kg	258%	188%	◎
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ	435トン	108%	119%	16.7トン	116%	132%	◎
小型 底びき網	久手	ニギス、ケンサキイカ、ソウハチ	260トン	117%	104%	968kg	123%	131%	◎
	和江	ケンサキイカ	361トン	96%	109%	926kg	106%	128%	◎
定置網 (大型)	浜田	マアジ、サバ類	56トン	107%	125%	2,931 kg	130%	137%	◎
	美保関	カタクチイワシ、サバ類	132トン	98%	89%	1,300 kg	89%	83%	▲
	浦郷	マアジ、ブリ	40トン	205%	191%	1,320 kg	191%	182%	◎
釣り・縄	仁摩	ケンサキイカ、メダイ	34トン	101%	120%	66 kg	102%	149%	◎
	大社	ブリ、ケンサキイカ	19トン	212%	107%	38 kg	147%	151%	◎
	西郷	メダイ、ケンサキイカ	30トン	157%	132%	37 kg	172%	102%	○

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を－とした